

荒天時は係留ボートの**浸水・転覆**に注意！

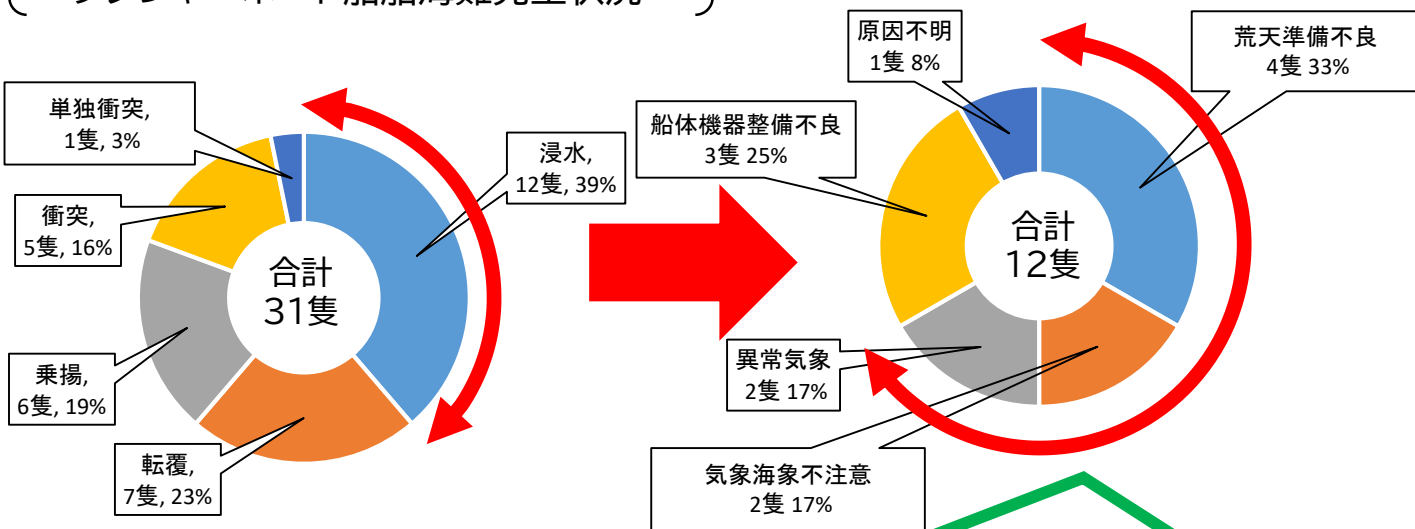
東北地方ではプレジャーボート等（遊漁船含む）の海難のうち、**浸水海難が10月に急増**しており、次に**転覆海難が多く発生**しています。【平成27年～令和元年】

月別浸水隻数



〔平成27年～令和元年の秋季におけるプレジャーボート船舶海難発生状況〕

〔浸水原因〕



浸水原因の約7割が気象関連！

第二管区海上保安本部 海の安全推進室

宮城県塩釜市貞山通3-4-1
(代表) 022-363-0111
(直通) 022-365-9609

🔍 マリレよろず屋 🔍 検索

台風や発達した低気圧から船を守るには

台風や発達した低気圧が接近している時に、船や海を確認しに行くことは**大変危険**です！
荒天前に対策をしましょう！

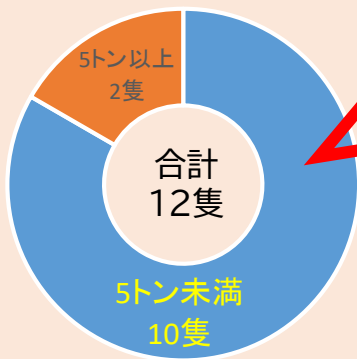


【荒天対策を**事前**にしっかりと！】

- ◎時化の前に増モヤイ等の**係留強化**を！
- ◎**高潮**を見越した**対策**を！
- ◎**ロープの擦れ**による**切断対策**を！
- ◎**開口部**や**排水口**(アカ抜き)の**確認**を！
- ◎可能な限り**陸揚げ保管**を！



【小さな船ほど要注意！！】



浸水の約8割が
5トン未満！



特に**5トン未満**の小さな船ほど、**浸水・転覆**をしやすい傾向にあります。

マリーナ等の陸上施設に陸揚げ可能な場合は実施して下さい。

陸揚げできない場合は、**風や波の影響**を受けにくい場所への**移動**など最大限の対応を実施してください。

甲板上を整理して排水口に詰まりそうな物は排除し、重い物が偏っていないか**船体バランス**にも**注意**しましょう。

海中転落は

準備の有無で生死が分 かります

今回の
ポイント!

- ・救命胴衣の正しい着用
- ・梯子の設置

事故事例 (機関故障・海中転落・携帯電話水没)

6月初旬、船釣りに出掛けた男性が海中転落し、近くの防波堤へ自力で這い上がったところを付近の船舶に救助されました。

調査の結果、釣り中に**機関故障**となり、釣り竿を片付けるために船内を移動中、つまづいて**海中転落**しました。

男性は**救命胴衣未着用**で、しかも泳げず船首から垂れ下がっていたロープに必死の思いでしがみつきました。

しかし船に自力では這い上がれず、携帯電話で友人に連絡しましたが、**携帯電話が水没**して使えなくなりました。

男性が救助されたときには、**低体温の症状**が見られました。

ライフジャケットは飾りじゃありません!!

ライフジャケットは着用するものです。

正しく着用していないと、落水時に**脱げてしまう**可能性があります。ライフジャケットを着用することによって転落した際に容易に浮くことができるため、次の行動を冷静に判断することに繋がります。

もし転落してしまった場合は・・・？

船に上られる準備をしておく！



水温の低い海では、急激に体温が低下します。

いち早く船の上にあがりましょう。

しかし！身体が冷え切った状態で船の縁を掴んで船上にあがることは難しい・・・。

船に上がるには**梯子**が有効です。

縄梯子使用時の注意点

船首側に縄梯子を取り付けた場合、外板との隙間が大きく、縄梯子が触れ回り、姿勢が不安定になるため、

船体中央から**船尾側**への**取り付け**をおすすめします。

縄梯子の作り方はこちらから



船首取り付け時 船尾取り付け時

船に上がれないときは・・・？

体力が無く船に上がれない場合は、

つかまって救助を待つ間体力温存

船と一緒にいることで、捜索時の早期発見が期待できます。

また、**携帯電話**を**防水パック**に入れておけば、つかまりながら

海の緊急通報118番で救助を求めることができます。

防水パック入り携帯電話

GPS対応携帯は通報時におおよその位置通報が設定できます。

マリンレジャーの疑問はこちら



Water Safety Guide

JCG 海上保安庁

